

令和6年度  
山形県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科  
総合型選抜（山形県内定着枠）

# 小論文

## 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は5ページ、解答用紙は3枚です。  
試験開始の合図とともに、直ちに問題用紙、解答用紙を点検し、印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があったら、手を挙げて監督者に知らせてください。  
ただし、問題の内容や解答の仕方についての質問は受け付けません。
3. 監督者の指示に従って、解答用紙のすべてに受験番号・氏名を記入してください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄に記入してください。
5. 解答用紙の※欄に記入してはいけません。
6. 解答用紙のホッチキス止めを切り離してはいけません。
7. 問題用紙の余白等は適宜利用してもかまいません。
8. 試験中は監督者に許可なく自席を離れたり、私語や談笑をしたりしてはいけません。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

1

以下の問いに答えなさい。

問 近年、日本を訪れる外国人の訪問先として首都圏などの大都市以外の地方が注目を集めている。日本を訪れる外国人に向けて、山形県内で紹介したい場所を1つ挙げ、その場所を紹介したい理由、さらには、その場所が地域における観光資源として持続可能なものとなるためには、どのような行政のしくみや市民活動が必要であるかを600字以内で述べなさい。

2

図は、わが国の死亡数及び年齢調整死亡率\*の推移を示している。  
以下の問いに答えなさい。

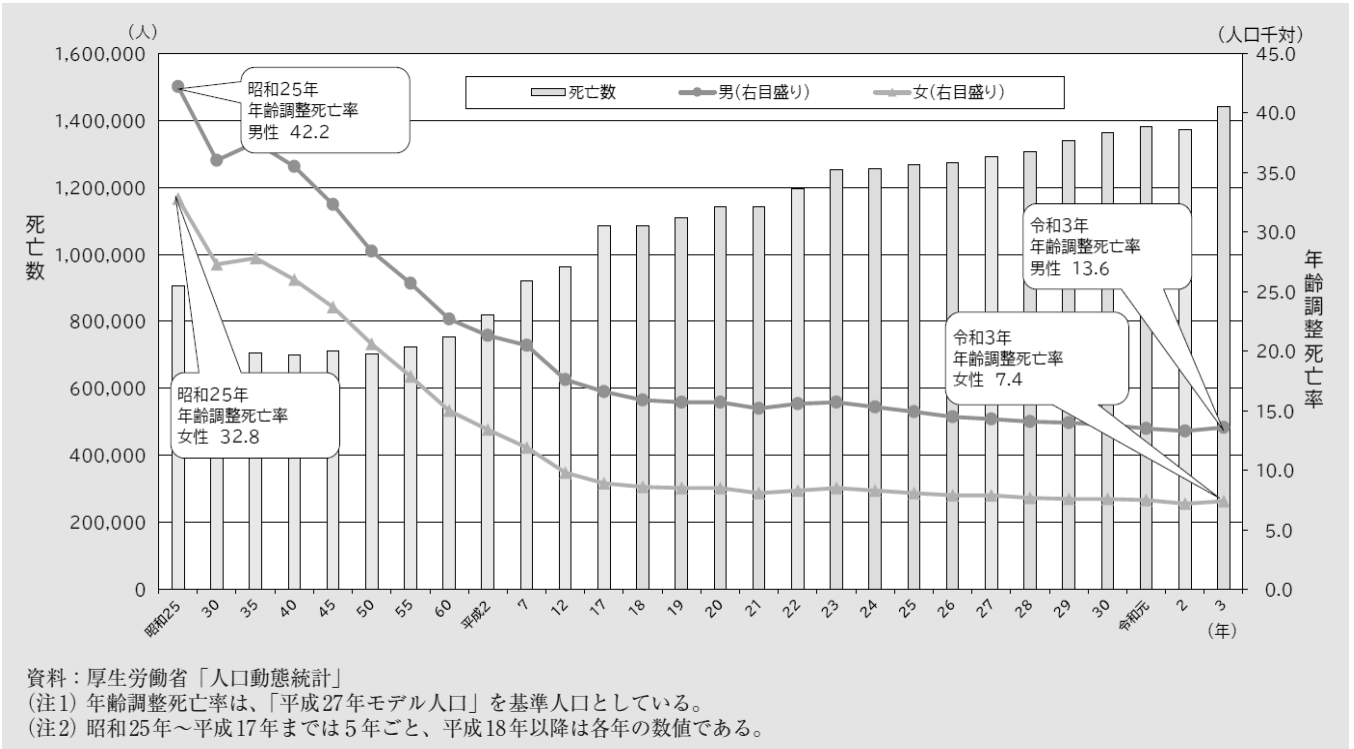


図 死亡数及び年齢調整死亡率の推移

※年齢調整死亡率

死亡数を人口で除した通常の死亡率（以下「粗死亡率」という。）は、高齢者の多い集団では高くなる。人口の年齢構成は毎年変化するので、粗死亡率は年次比較には適さない。そこで、人口の年齢構成が毎年一定であると仮定して（これを「基準人口」という。）死亡率を算出したのが、年齢調整死亡率である。

出典) 内閣府 令和5年版高齢社会白書（全体版）（PDF版）p13. 一部抜粋

[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2023/zenbun/pdf/1s1s\\_05.pdf](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2023/zenbun/pdf/1s1s_05.pdf)

問1 図をみると、昭和35（1960）年から令和3（2021）年までの間、わが国の死亡数は増加傾向にあったことが読み取れる。それでは今後、令和6（2024）年から令和22（2040）年頃まで、わが国の死亡数はどのように推移していくと考えますか。その理由と合わせて100字以内で述べなさい。

問2 図をみると、昭和40（1965）年から平成17（2005）年までの間、わが国の年齢調整死亡率は低下してきたことが読み取れる。年齢調整死亡率が低下した要因はなにであると考えますか。年齢調整死亡率を示すことの意義を説明したうえで、年齢調整死亡率が低下した要因を400字以内で述べなさい。ただし、年齢調整死亡率の男女差に関する説明は不要である。

### 3

次の新聞記事を読んで、以下の問いに答えなさい。

食事制限や運動は不要。やせやすく太りにくい——。インターネット上で「やせ薬」として紹介される糖尿病の治療薬について、製薬会社が出荷制限をかける事態となっている。供給不足が主な原因とされるが、その背景には美容目的での利用の広がりもある。糖尿病治療に影響が出るとして、医師らは「本当に必要な人に薬が行き渡らなくなる」と危機感をにじませる。

問題の薬は「GLP-1 受容体作動薬」。インスリンの分泌を促して血糖値を下げる働きをする。注射薬や飲み薬があり、「2型糖尿病患者」に投与される。欧米では、食欲を抑えるとして肥満症の治療でも使われる。厚生労働省などは、糖尿病でない人への安全性などが確認されていないとして注意を促している。

医療関係者によると、この薬が保険適用されない自由診療\*を中心に処方されているという。ネット上で「GLP-1 ダイエット」と検索すると、効果の宣伝とともに「オンライン診療で薬を受け取れる」「すぐに発送」など、手軽さも強調する美容系クリニックのページが複数表示される。

一方でいま、薬の供給不足が国内外で広がっている。中でも糖尿病治療で主に使われる注射薬数種は需要の高まりに製薬会社の生産が追いつかず、今年3月から出荷停止や限定出荷となり、現場では苦渋のやりくりが続いている。

A 大学医学部附属病院の B 医師は、「比較的状态が安定している患者さんには、効果の弱い薬に置き換えるといった対処をしている」と話す。ただ、このような状況が長引いて「血糖値のコントロールが悪くなると、将来的な合併症が憂慮される」といい、自由診療であっても「製剤がない状況では、美容目的での利用は控えて糖尿病患者に回してほしい」と訴える。

#### ※自由診療

公的医療保険制度を用いない診療で、治療や薬剤にかかる費用は患者が10割負担する。

出典) 吉備彩日. 足りない糖尿病薬 「やせ薬」としてネットで広がり. 朝日新聞. 2023年10月18日朝刊(14版), p1. 一部改変

問1 もしあなたの友人が、ここに挙げられている「やせ薬」をダイエット目的で使おうとしていたら、あなたは友人に何と伝えたいですか。理由も含め、200字以内で述べなさい。

問2 記事にある医薬品の供給不足の問題のほか、現在国内では医薬品の過量摂取（オーバードーズ）が社会的に問題となっている。どのようにしたらこの問題を解決できるか、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

#### 医薬品過量摂取（オーバードーズ）の問題

医薬品を治療目的ではなく、乱用目的（ハイになるため、気分を変えるためなどの目的）で決められた量や回数を超えて過剰摂取すること。過剰摂取の結果、依存症の発症や急性中毒・死亡例も報告されている。「オーバードーズ」は青少年で広がっており、コロナ禍では特に市販薬（ドラッグストアなどで処方せんなしに購入できる薬）によるオーバードーズが急増している。